

歯科理工学講座研究業績<Research Activities>(1996)

原著 (Original Articles)

1. El Araby, A. M., Udoh, K., Tanaka, Y., Hisatsune, K. and Yasuda, K.: Age-hardening characteristics of (AuCu)_{1-x}Pt_x pseudobinary alloys, Mater. Sci. Eng. A206, 290-301, 1996.

総説, 解説 (Review, Comment)

1. 渋谷昌史、白石千秋、池田毅、大澤雅博、久恒邦博、安田克廣: 急速加熱型石膏系埋没材の膨張に関する検討。歯科技工、24, 353, 1996.

学内紀要, 各種報告書 (Bulletin, Reports)

1. 久恒邦博: イオン工学的方法による歯科用合金の表層改質に関する基礎的研究。平成6、7年度科学研究費補助金(一般研究(C))研究成果報告書、1996.

学会発表 (Oral and Poster Presentation)

1. 田中康弘、安田克廣、Y. Zhang、桜井利夫: FePtNb 貴金属磁石合金中のNb元素の分布の解明。第119回日本金属学会、札幌、1996。{日本金属学会講演概要、408, 1996。}

2. Hisatsune, K. and Yasuda, K.: Microstructural Changes induced by phase transformation in dental alloys, International Conference Progress in the Science and Technology of Gold, Hanau, Germany, 1996.

その他 (Other)

1996年10月23 日から11月13 日まで田中康弘助手は、J. ファン ランダイト教授および G. ファンテンデルー教授と [AuCu-Pt 擬 2 元系合金における長周期逆位相境界構造の高分解能電子顕微鏡による解析] の共同研究実施のためアントワープ大学に滞在した。また、G. ファンテンデルー教授は上記共同研究のため、1996年6月23日から7月3日まで来日した。

安田克廣教授は正四位勲三等旭日中綬章ならびに日本歯科理工学会平成8年度学会賞を受賞した。